



（左）公開シンポジウムの様子（右上）エキノコ玉ノ井（名鉄玉ノ井駅から）  
（右下）葛利毛織工業のノコギリ屋根工場（施設見学の様子）

## 公開シンポジウム開催！ 繊維産業遺産“ノコギリ屋根工場”を活かしたまちづくり

地域再生まちづくり小委員会では、2022年11月5日に、エキノコ玉ノ井（一宮市）で、公開シンポジウム「繊維産業遺産“ノコギリ屋根工場”を活かしたまちづくり」を開催しました。國廣純子氏（青梅市タウンマネージャー）、岩井章真氏（一宮市博物館学芸員）、平松久典氏（のこぎり二）の講演に加え、今村洋一氏（椋山女学園大学）を交えた座談会で、繊維産業遺産としてのノコギリ屋根工場の価値や可能性、今後の活用の仕方について討論を行いました。エキノコ玉ノ井に近い、葛利毛織物工業の施設見学（主屋ほか9棟が国登録有形文化財）も合わせて行いました。会員外にも門戸を広げ、現地（ノコギリ屋根工場）でシンポ開催という新たな取り組みでもありました。

### 【担当委員】

豊橋技術科学大学 建築・都市システム学系 浅野純一郎